

一人打ち男子の部

	氏名	性別	出身地	演奏曲名	曲紹介文
1	持田 誠壹	男	愛知県	一打入魂 (イチダニウコン)	一打一打に感謝の気持ちを込めて演奏させていただきます。よろしくお願ひ致します。
2	稲垣 昌良	男	千葉県	神鳴り (カミナリ)	天を裂く稲妻、轟く雷鳴。古来より「神鳴り」と恐れられた雷の持つ力、それを操る雷神の様を表現します。
3	筒井 悠貴	男	神奈川県	龍神(リュウジン)	こんにちは、筒井悠貴です！自分らしさをテーマに和太鼓をやっています。渾身の力で感動を与える演奏をします。
4	久高 徹也	男	長野県	天籟(テンライ)	どんな困難な状況におかれても、全てをあるがままに受け入れ全身全霊で臨めば、必ず道は開ける。
5	福島 拓丸	男	栃木県	暁(アカツキ)	暁夜明けの空を表すことから清々しく希望に溢れる未来に向かい、目標を失わず力強く生きるさまを表現する。
6	大垣 広人	男	栃木県	雲海(ウンカイ)	雷が去った後の雲が見事に海のように広がり、その光景の中に人の生を垣間見た感覚を曲にぶつけてみました。
7	今井 昇	男	石川県	帰郷の響 (キキョウノヒビキ)	輪島に生まれ一度離れ色々経験しました。しかし輪島に戻り改めて感じたいろんな音を、太太鼓で表現します。
8	佐藤 省吾	男	栃木県	雷雲(ライウン)	春が来るように最初は元気よく始まり、途中で空模様が変わり雷雲になるというイで思い描いて作りました。
9	浅野 駿	男	長野県	頂(イタダキ)	偉大なる山の頂きに向かい、険しい道のりを一步一步這い上がっていく姿を全身全霊で打ち表します。
10	猪瀬 七頰	男	栃木県	龍水(リュウスイ)	静かな滝に流れる水が龍とともに舞い降り荒ぶる姿をイメージした曲です。
11	中野 歩	男	広島県	心火(シンカ)	心の火、“心火”を燃やして、等身大の音を届けます。
12	南 光	男	静岡県	一念天に通ず (イチネンテンニツズ)	全身全霊を込めて、思いきり打ち込みます。
13	江下 光利	男	神奈川県	金剛仁王 (コンゴウニオウ)	阿形像、吽形像からなる二体一組の仏神。阿吽の呼吸で諸悪を断ち切る姿からは陰と陽、万物を表現している。
14	山内 勇人	男	静岡県	魂打響奏 (コンダキョウソウ)	魂を打ち響かせ奏でる。太鼓と真摯に向き合い一打一打心を込めて打ち鳴らします。
15	山田 嘉穂	男	神奈川県	雲蒸竜変 (ウンジョウリュウヘン)	新しき竜が雲を裂き、雄々しき姿を現す様を表現した曲です。より力強い、レベルアップした演奏を行います。
16	山内 和紀	男	静岡県	風雅(フウガ)	柔らかさをイメージし、作曲しました。しなやかさから生み出される響きを体全体でお楽しみください。
17	宮崎 説也	男	三重県	挑戦(チョウセン)	日々自分自身と向き合い、挑戦し続けてきました。全身全霊で打ち込みます。よろしくお願ひします。
18	生田 隆明	男	三重県	吾唯足知 (ワレタダタルヲシル)	長く和太鼓と向き合ってきたことへの感謝と、背伸びをしないこれからの歩みを太太鼓で表現します。
19	石井 虎弥太	男	神奈川県	騎虎の勢い (キコノイキオイ)	今回演奏させて頂く「騎虎の勢い」は虎の上に乗る駆け抜ける。という意味を込めて作曲していただきました。
20	宮澤 辰典	男	長野県	閃(セン)	雷、雨、風、雲全てを支配し表現します。
21	境 学	男	神奈川県	繋(ツナギ)	聴いてくださる方々の心を繋ぐ響きとなるよう、思いを乗せ全身全霊で打ち込みます。
22	高見 大志	男	熊本県	英姿颯爽 (エイシサツソウ)	見ている人に感動喜び生きる人を与えるために、私自身英姿颯爽となり全身全霊で太太鼓を打ち鳴らす。
23	塚本 隼也	男	東京都	鼓魂(ココン)	一打一打、一音一音 心を込めて打ち込みます。
24	原岡 若輝	男	愛知県	郷の音(サトノネ)	私の生まれ育った地の山や川、空、生き物たちを音で表現。故郷を想い打ち響かせます。
25	白石 翔	男	東京都	爆炎(バクエン)	和太鼓を始めて8年経ち、今までの経験や出会いの気持ちを爆発させ、その想いを激しい炎で表したいと思います。
26	李 順夏	男	韓国	海の歌(ウミノウタ)	海を眺めると、そこから聞こえてくる荘厳なメロディーに深く感動します。それを太鼓演奏で表現しました。
27	小池 晃大	男	東京都	波ノ花 (ナミノハナ)	波の花は、厳しい冬の海でしか見ることができない。荒れ狂う海、風に舞う波の花を表現します。
28	野口 虎里	男	神奈川県	獅子奮迅 (シシフンジン)	怒り狂った獅子が奮い立ち凄まじい勢いで猛進し敵にぶつかって行く様を太鼓で表現します。
29	青木 よしあき	男	愛知県	誓命願者 (キョウメイガンジャ)	太鼓の響きに願いをのせて、命を込めて打ち込みます。
30	佐藤 洸太	男	愛知県	粒々辛苦 (リュウリュウシンク)	音を穀物にたとえその儚さ、尊さを表現しました
31	大山 龍人	男	東京都	自利他他(ジリリタ)	多くの人達に感謝を伝えたい。その先には縁をした人々が幸せになってほしいという心を届けたい。
32	熊谷 拓亜	男	東京都	篠突く雨 (シノツクアメ)	日本は雨の多い国と言われています。降りしきる激しい雨をこの大きな太鼓で表現します。
33	山岸 伸聡	男	東京都	彩(サイ)	色彩の彩というこの字は、彩色することを表しています。短く限られた時間の中で自分の技術を発揮します。
34	阿部 洸太	男	東京都	嘯矢(コウシ)	嘯矢は、戦を始めるとき敵陣に向かって矢を射たことから物事の始まりという意味で、それを表した曲です。
第33回富士山太鼓まつり 富士山一人打ちコンテスト最優秀賞受賞者(予選免除)					
	加藤 慎二	男	茨城県	千軍万馬 (せんぐんばんば)	戦国時代…各地で様々な戦が繰り広げられ、その戦、精根尽きるまで戦い抜く…凄まじい戦がいざ、はじまる…

※申し込み順(当日の出場順ではありません)

※敬称略

※曲名、曲紹介文は変更となる場合があります。